

先週この欄で紹介した新制中学校の誕生は、教育史上の「革命」と言っても過言ではないものでした。その翌1948

(昭和23)年には、同じく連合国軍総司令部(GHQ)の意向のもとに、再び公立中等教育の改革が断行されます。新制高等学校(以下、新制高校)

の誕生です。

京都府内で新制高校の母体になったのは、旧制中学校や商業学校・工業学校、高等女学校などでした。これらの学校を、有無を言わず全

て「廃校」にして、48年4月1日までに府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

て「廃校」にして、48年4月1日までに府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

て「廃校」にして、48年4月1日までに府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

域で再び改革が断行され、同年10月に府内全

存在半年の「伝説」校も

小学区制とは、住んでいる場所て入学する学校が決まる、いわゆる学区制のことです。総合選択制も併用された京都府内

ある場所て入学する学校は課程の統廃合が行われ、63年には市立の商業制のことで。総合選択制も併用された京都府内



●京都市立中京高校1年1組の集合写真(1948年10月)
●中京高校は元市立第一中学校で、男子校、校舎は元堀川高等女学校を利用したためプレートは女学校のまま

総合制とは、商業高校や工業高校を置かず、で

例えば、市立第一工業学校(現市立洛陽工業高校)は普通・商業・工業の3課程を持つ市立洛陽高校になり、工業学校でなくになりました。しかしこの制度には、本格的に実施するには多額の費用がかかるなど問題を示しています。